平成２８年度　　事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	Ⅲ	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
目標		青少年の非行の未然防止に努める。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27
指標①	児童・生徒のボランティア活動（ﾘﾝｸﾞﾌﾟﾙ及びﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙｷｬｯﾌﾟ集めに取り組む学校）	校	－	10	10	10	9	8	8	8
指標②	児童・生徒の街頭補導（指導）件数	件	2,011	328	231	170	101	133	231	153

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　地域との連携による青少年の健全育成	①　青少年の健全育成	・青少年のボランティア活動の機会提供を充実します。 ・青少年事業を実施する地域と関係機関との連携の強化を図るとともに、年齢期ごとに自然体験や社会体験、生活体験など各種体験活動の充実を図ります。
1-②	1　地域との連携による青少年の健全育成	②　非行などの未然防止	・青少年を取り巻く有害環境対策を進めるとともに、青少年補導センターを中心にした補導巡回の充実に努めます。 ・学校や家庭、地域、関係機関と有機的な連携を図り、問題行動の早期発見や非行の未然防止に努めます。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業
1	1-①	少年の主張大会 52311001	教育委員会	社会教育G	S58	－	ソフト	一般会計	
2	1-①	青少年育成指導経費 52311003	教育委員会	社会教育G	S37	－	ソフト	一般会計	
3	1-①	成人祭 52311004	教育委員会	社会教育G	S29	－	ソフト	一般会計	

Plan ・ Do

NO	事業概要：事業の目的	年度	対象者等（※ハード事業の場合は、施設名を記載）	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	子どもたちが、論理的に考える力や自分の考えを正しく理解してもらう力、広い視野と柔軟な発想、創造性を身につけるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を得ることを目的とする。	H26	市内中学生	中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていることなどについて発表を行う少年の主張大会を開催した。 胆振地区大会の予選を兼ねており、ライオンズクラブとの共催。 開催日：平成26年６月２日（月） 開催場所：幌別中学校	
		H27	上記のとおり	上記のとおり 開催日：平成27年６月１日（月） 開催場所：登別中学校	
		H28	上記のとおり	上記のとおり実施 開催日：平成28年６月７日（火） 開催場所：鷲別中学校	
2	青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築することにより、青少年の健全育成を図ることを目的とする。	H26	青少年指導センター	青少年センターや青少年問題協議会を運営し、専任指導員や指導委員による巡回等を行った。 ・通常巡回　777回 ・祭典等の巡回　112回 ・こども110番の家の拡充 ・青少年問題協議会の開催　１回 【指導員等の構成】 ・専任指導員２名、青少年指導委員58名 ・青少年問題協議会委員13名	地方青少年問題協議会法、登別市青少年問題協議会設置条例、登別市青少年問題協議会設置条例施行規則、登別市青少年センター設置及び運営に関する要綱
		H27	上記のとおり	上記のとおり ・通常巡回　779回 ・祭典等の巡回　157回 ・こども110番の家の拡充 ・青少年問題協議会の開催　２回 【指導員の構成】 ・専任指導員２名、青少年指導委員58名 ・青少年問題協議会委員13名	上記のとおり
		H28	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり
3	新成人が大人としての自覚を持ち、意識の向上を図ることを目的とする。	H26	登別市の新成人	市内に勤務する青年や専門学校生、高校生などで組織する登別市成人祭実行委員会と市の主催により成人祭を開催した。 開催日：平成27年１月11日（日） 場所：登別市民会館 出席者数：378人（対象者561人、出席率66.8%）	
		H27	上記のとおり	上記のとおり 開催日：平成28年１月10日（日） 場所：登別市民会館 出席者数：340人（対象者594人、出席率57.2%）	
		H28	上記のとおり	上記のとおり 開催日：平成29年１月８日（日） 場所：登別市民会館 出席者数：361人（対象者564人、出席率64.0%）	

事業の成果、目標

NO	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
1	発表者人数	人	12	12	12	12	12	12
1	－	－	－	－	－	－	－	－
2	巡回指導者人数	人	1,405	1,477	1,500	1,500	1,500	1,500
2	－	－	－	－	－	－	－	－
3	成人祭参加率	%	66.8	57.2	65	65	65	65
3	－	－	－	－	－	－	－	－

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】

NO	名称		H26 決算	H27 決算	H28 予算	H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案
1	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		29	27	27	27	27	27
	合　計		29	27	27	27	27	27
2	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		566	582	790	782	782	782
	合　計		566	582	790	782	782	782
3	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		223	205	378	279	279	279
	合　計		223	205	378	279	279	279

Check

NO	年度	第2期基本計画第3次実施計画期間（H24～H27）及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業については、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考えるカや自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につけることが大切であることから、少年が社会に向けての意見、未来への希望などを発表する機会を設け、少年の健全育成及び非行防止に対する市民の理解を深める契機となることを目的としている重要な事業であり、継続的に実施することが相当である。
	H27	今年度の実施状況から、一般参観人が少ない。 多くの市民に聞いてもらえるように、周知方法などの検討が必要である。		
	H28	前年度の実施状況から、一般参観人が少ないため、広報やホームページ等を活用し啓発を行う。		
2	H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	青少年センターでは青少年の健全育成のため、青少年指導委員の協力のもと専任指導員を中心とした巡回指導や不審者発生個所の巡回などを行っている。 市民からの自発的な協力が増加しているほか、多発する不審者の出没抑止のため、本事業の必要性は高いことから今後も市が継続的に実施することが相当である。
	H27	上記のとおり		
	H28	上記のとおり		
3	H26以前	平成23年度までは、マリンパークで成人祭を実施していたが、平成24年度より、市民会館での実施となった。（実行委員会により決定）	維持	登別らしい成人祭を実施し、成人としての意識向上を図る機会であるとともに、市内の若い世代で構成される実行委員会が自ら考え、企画して実施することにより、登別市のまちづくりを担う人材育成にも寄与していることから、今後も事業を継続することが相当である。
	H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。		
	H28	上記のとおり		

Action

NO	今後の事業の方向性【H29以降】
1	本事業は、青少年が社会に向けて意見などを発信する重要な機会であることから、今後も継続する。 なお、一般参加については、参観人が少ないことから、周知・啓発方法など、多くの市民に発表を聞いてもらうための方法を検討する。
2	青少年を取り巻く状況は年々変化しており、青少年センターの活動についても毎年精査し、目的に沿った行政の役割を果たすことに努めていく。
3	実行委員会を中心とし、今後も時勢にあった成人祭を実施していく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H26実績	H27実績	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H26決算	H27決算	H28予算	H29予算案	H30予算案	H31予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間(H24～H27)及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など (妥当性、有効性、効率性、成果)	Action 今後の事業の方向性 【H29以降】
4	1-①	子ども会活動振興助成金 52311006	教育委員会	社会教育G	S62	ー	ソフト	一般会計		子どもたちの健全育成のために活動する登別市子ども会育成連絡協議会を支援することにより、子どもたちに生きる力と健全な心身の育成を図ることを目的とする。	H26	登別市子ども会育成連絡協議会	子どもたちの健全育成のために活動する登別市子ども会育成連絡協議会に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。 【主な事業】 第39回こいのぼりマラソン大会、パン作り体験学習、育成者研修会、登子連紙の発行など	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	子ども会加入者数	人	2,227	2,214	2,300	2,300	2,300	2,300	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	登別市子ども育成連絡協議会への支援は、子ども達の健全育成に努め、次世代を担う子どもたちの生きる力を育くむために欠かせないことから、引き続き支援を行うことが相当である。	行政だけでなく地域の関係者の協力が必要不可欠であるため、今後も同協議会への支援を行うことで、青少年の健全育成を図っていく。
																						道支出金													
											H27	上記のとおり	上記のとおり 【主な事業】 第40回こいのぼりマラソン大会、登子連50周年事業（体験活動、講演会、記念誌）、パン作り体験学習、育成者研修会、登子連紙の発行など	上記のとおり								地方債										H27	上記のとおり			
															子ども会事業参加者数	人	148	265	150	150	150	150	その他												
											H28	上記のとおり	上記のとおり 【主な事業】 第41回こいのぼりマラソン大会、パン作り体験学習、育成者研修会、登子連紙の発行など	上記のとおり								一般財源		830	830	830	830	830	830			H28	上記のとおり			
																						合 計		830	830	830	830	830	830						
5	1-①	登別市学校支援地域本部事業 52311007	教育委員会	社会教育G	H23	ー	ソフト	一般会計		地域で学校をサポートするシステムを構築し、地域教育力の向上を図ることを目的とする。	H26	市内小中学生	学校支援地域本部を設置し、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施した。 【実施内容】 ふれあい農園、土曜寺子屋、音楽を楽しむ会等	「学校支援地域本部事業」実施委託要綱	学校支援地域事業参加者数	人	4,231	5,049	4,000	4,000	4,000	4,000	国庫支出金								H26以前	平成22年度までは登別市子ども地域交流プラザとして実施していた事業を、より地域の教育力を高めることができるよう平成23年度から学校支援地域本部事業とした。	維持	各中学校区に配置しているコーディネーターが、企画立案や学習支援活動などのボランティア発掘など、積極的な活動を行っていることにより、学校・家庭・地域との良好な関係を構築して、事業展開が出来ており、今後も事業を継続していくことが相当である。	学校・家庭・地域の連携体制が構築されてきていることから、今後も引き続き多くの地域の方の協力を得ながら、学校支援活動の充実を図っていく。
																						道支出金	学校支援地域本部事業補助金	1,233	1,247	1,426	1,425	1,425	1,425						
											H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								地方債										H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																						その他													
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	学校支援地域ボランティア登録者数	人	43	103	150	150	150	150	一般財源		1,536	1,525	1,615	1,614	1,614	1,614			H28	上記のとおり			
																						合 計		2,769	2,772	3,041	3,039	3,039	3,039						